



はやし幹 林もとひと県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

成田財特法の延長必須

成田空港を核として千葉県の発展を期す林幹人県議は6月定例県議会で自民党を代表して質問を行いました。成田空港関連では、今年度末で法期限切れを迎える成田財特法を取り上げ、「空港の機能整備と地域振興に果たしてきた役割は極めて大きい」として期限延長と法改正についての県の考えを質しました。農業関連では、農業産出額全国第2位奪還のための県の取り組みや園芸農業の振興方法などを質問しました。林県議の質問と県執行部の答弁を紹介します。

林幹人議員の代表質問項目

- ・財政問題について
- ・企業土地管理局の更なる機能強化について
- ・成田空港の更なる機能強化について
- ・防災対策について
- ・千葉県子ども・子育て支援事業支援計画について
- ・第3期千葉県がん対策推進計画について
- ・感染症対策について
- ・(仮称)千葉県総合救急災害医療センターの機能について
- ・再生土の埋め立てについて
- ・東京オリンピック・パラリンピックについて
- ・県経済の活性化について
- ・農林水産業の振興について
- ・県内の道路整備について
- ・幕張新都心における新駅設置について
- ・学校における働き方改革について
- ・県立中学校の教科書採択について
- ・教職員の不祥事について
- ・県立図書館について
- ・電話de詐欺について

6月定例県議会代表質問



自民党を代表して県の施策を質問する林幹人県議

林議員 「成田財特法」は、成田空港の建設に伴う空港周辺地域の公共施設やその

これまで空港の機能強化等に基づく社会資本整備の必要性から法延長が行われ、直近では平成25年度末の延長により空港周辺の施設整備に貢献してきましたが、法期限である平成30年度末においても完成できない事業が残る見込みです。

30年度末に法期限を迎える成田財特法について、県はどう考えているのか。

そこでどうかがうが、平成30年度末に法期限を迎える成田財特法について、県はどう考えているのか。

林もとひと県議・プロフィール

○略歴○
昭和48年9月 銚子市に生まれる
平成4年3月 銚子市立銚子高校卒業
平成8年3月 玉川大学文学部卒業
5月 米国ロードアイランド州語学留学
平成10年4月 空港グランドサービス入社
平成12年4月 衆院議員・山崎拓秘書
平成15年4月 衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)
平成19年4月 千葉県議会議員初当選
平成23年4月 千葉県議会議員再選
平成27年4月 千葉県議会議員3選

○現職○
・県議会 総務防災常任委員会副委員長 ・自民党 ちば青年部長

018において、「成田財特法による周辺地域の施設整備の促進」が掲げられているところであり、県では、このような状況を踏まえ、未完了事業に加えて、機能強化により大きな影響を受ける空港周辺のアクセス向上のため必要な道路整備などを新たに対象として追加した上での改修に向けて、しっかりと国と協議してまいります。

成田用水施設の改築事業や、新たな対象として追加した空港周辺のアクセス向上のため必要な道路整備などを新たに対象として追加した上での改修に向けて、しっかりと国と協議してまいります。

018において、「成田財特法による周辺地域の施設整備の促進」が掲げられているところであり、県では、この

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ

林 もとひと

〒286-0134

成田市東和田569 なるげや陶器ビル3階D号

TEL.0476-20-0884

FAX.020-4622-9781

Eメール:motohito884@gmail.com

空港周辺地域振興に貢献
法改正を国と協議

森田知事

と理解している。
今後、成田空港の更なる機能強化に伴い、周辺の地域づくりを着実に進めるためにも、成田財特法の期限延長と改正が不可欠であると考える。

そこでどうかがうが、平成30年度末に法期限を迎える成田財特法について、県はどう考えているのか。

そこでどうかがうが、平成30年度末に法期限を迎える成田財特法について、県はどう考えているのか。

そこでどうかがうが、平成30年度末に法期限を迎える成田財特法について、県はどう考えているのか。

そこでどうかがうが、平成30年度末に法期限を迎える成田財特法について、県はどう考えているのか。



twitter
@motohito884

Facebook 林 幹人

ホームページ 林もとひと

検索

災害での被害軽減へ 「自助」、「共助」を促進

林議員 首都圏では建物の倒壊や火災による焼失など、多大な被害をもたらす直下型地震の発生が懸念されている。もとより、災害の発生を完全に防ぐことは不可能だが、県民の一人ひとりが、災害から自らを守る「自助」、近隣住民が相互に協力しつつ、災害から地域を守る「共助」、そして、県や市町村等が担う

そこでどうかがうか、自助共助の取り組みを促進するため、県ではどのような対策を講じているのか。

副知事 県では、本年4月に「防災ポータルサイト」

また岩手県での河川氾濫や熊本地震の教訓を踏まえ、災害時に地域住民が互いに助け合い、行動できるヒ

を統合して整備する（仮称）千葉県総合救急災害医療センターについては、平成28年度に基本計画を策定しましたが、循環器病センターのあり方検討に伴い、平成29年11月から基本設計の

林議員 改定された千葉県がん対策推進計画はどのようなものか。

のできるかんどの共生^{セイジン}を
新たな施策の柱の一つと位置づけました。

協働した治療と仕事の両支援、県独自に作成した緩和ケアマニュアルを活用して在宅緩和ケアの普及などを、新たに計画に盛り込んでごろです。



愚の施策に対して要望する林幹人愚謹

林議員（仮称）千葉県総合救急災害医療センターの整備は緊急性が高いと考えるが、中断している基本設計

業務を中断しているところです。

の基本計画に基づき整備を進めることとし、来月から量本設計を再開したいと考えております。

分野での取り組みをさらに推し進め、未来に向けた強い千葉県づくりにつなげてまいります。

県総合救急災害医療センター

林議員 農業産出額全国第2位奪還に向けた千葉県農林水産業振興計画は本年度から4年間を期間とするものであるが、掲げた目標を着実に達成するためにも、初年度にあたる今年度の取

り組みは大変重要である
そこでうかがうが、農業産出額全国第2位奪還及び農業者の所得向上に向けて、今年度はどのように取り組んでいくのか。

そこで、「農林水産業振興法」を更に発展させるためには、国内外の産地間競争に打ち勝つことが必要であり、そのためには販売力や生産力の一層の強化が何よりも重要です。

年度は、「県産農林水産物の輸出の促進など、販路の拡大に対する支援」「園芸農業の競争力強化を目的とした生産施設等の整備やスマート農業の導入促進」「酪農家

で取り組みを進めています。

出荷体制を構築

トの確保など、生産力の向上と出荷体制の強化に取り組んでいます。

催を本県の發展はどこで結ぶか。
付けていくのか。

農業産出額全国第2位
奪還へ販売・生産力強化

の労働環境の改善や経営の効率化につながる、新たな生産方式への転換に対する支援」などをより積極的に推進していくこととしています。今後とも、農業者の所得向上、そして農業産出額全国第2位奪還を目指し、生産者や様々な関係団体と力を

な対策を講じていただく上
う要望する。振興計画に掲
げた目標の着実な達成に向
け、他県の状況も踏まえた
分析・評価を行つたうえで
次年度の施策や事業に取
り組んでいただくよう要望
する。

業の発展には、产地の生産力の強化とマーケット需要に対応した出荷体制の構築が必要です。

所得の向上を図りながら、次世代につながる園芸農業を創り上げてまいります。